

<p>8/1(土) 14:00～ 伊那市生涯 学習センタ ー</p>	<p>(1) 新しい県立美術館の特徴と事業展開について</p> <p>○企画展は展示室 A から D を使用し、各種団体の主催する展示は地下 1 階のスペースという認識でよいか。</p> <p>→ (松本信濃美術館館長)</p> <p>2階の展示室 A、B、C と 1 階の展示室 D で美術館が企画した展示を行う。各種団体にお貸しするのは地下 1 階の県民ギャラリーと多目的ルーム。</p> <p>○例えば、東京に作品を出品し、それを地方に巡回した場合、企画展の扱い、つまり美術館との共催になる可能性はあるか。</p> <p>→ (松本信濃美術館館長)</p> <p>美術団体が多数ある中、美術館の共催展や企画展として開催する可能性は決して高くはないが、完全にないとは言えない。</p> <p>(2) 長野県信濃美術館の名称変更について</p> <p>○名称について県民に公募するという考えはないのか。</p> <p>→ (日向信濃美術館整備室長)</p> <p>公募の場合、公募をするのはあくまでも名称の候補で、決定とは別と考える。</p> <p>○長野県立美術館だと、分かり易く、県の代表的な美術館であることははっきりするが、今まで親しんできた県民にとっては、アイデアを出してもらい、関心を持ってもらうという方向もある。既に賛否が出ていることに対し、しっかりコンセプトをもって決めることが必要。</p> <p>(3) その他</p> <p>○スタッフ体制は強化されるか。運営は指定管理者に徐々に移行されるのか。</p> <p>→ (日向信濃美術館整備室長)</p> <p>休館前のスタッフは 15 名で、今年 4 月現在 22 名で、開館時は 24 名体制になる。管理・運営については平成 18 年度から指定管理者制度を採り入れており、引き続きこのようなやり方で運営していきたい。</p>
--	--